

本日ここに市議会5月臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、大変お忙しいところにもかかわらず、ご健勝にてご参集を賜り、誠にありがとうございます。

議長のお許しをいただきまして、今回ご審議いただきます諸議案の説明に先立ち、市長就任のごあいさつと私の市政運営に対する所信の一端を申し述べさせていただきたいと存じます。

さて、私は先月、執行された秩父市長選挙におきまして、市民の皆様を始め、各方面の皆様方から心強いご支援を賜り、市政運営を担わせていただくことになりました。

このたび、愛するふるさと秩父市の市長として、皆様の前に立たせていただくことになりましたが、改めて私に課せられた責務の重大さを深く認識するとともに、市民の皆様の期待に応えるべく、今後の市政運営に全身全霊でこの職責を全うしていく所存でございます。

私は5月1日の市長就任に当たり、登庁初日に職員に訓示を行いました。その中で、職員に伝えたことは、「スピード」と「実行力」を持って市政を進めていく姿勢の大切さです。

どんなに素晴らしい政策も、タイミングを逃せばその力は半減し、市民の皆様が届くはずだった恩恵も小さくなってしまいます。だからこそ、これまで以上にスピード感をもって決断し、行動し、市民の皆様に変化を実感していただける結果を一つ一つ積み上げていきたいと考えています。

また、秩父市は多くの課題を抱えておりますが、これを職員と一緒に力を合わせ、知恵を出し合って乗り越える大きなチャンスと捉えて挑戦していきたいと考えており、この挑戦にあたって職員を同志として信じ、心をひとつにして歩んでいきたいとお話させていただきました。

私といたしましては、職員との信頼を何よりも大切に考え、市長と職員の信頼関係のもと、スピード感を持った市政運営を実現できるよう努力をしてまいります。

その一例をお示しいたしますと、就任初日に公共工事にかかわる、10万円以上の随意契約について、すべて市長決裁とされていたものを規定どおりの決裁権者に戻すことを実行いたしました。

さて、私はこの市長選挙にあたり、「ちちぶ新時代政策三本の矢」として、「医療・福祉・介護の充実」、「経済とインフラの強化」、「市民の皆様と将来に開かれた市政」を掲げ、その具体的な手法としてマニフェストを発表しました。本日はその一端をお話ししたいと思います。

まず、最初に、私たちの最も大切な「命」を守る政策について申し上げます。

秩父市は現在、医療提供体制の維持に大きな課題を抱えております。私は就任初日に「スピードアップ新病院建設宣言」を発表しました。可能な限り早く住民の皆様に、安心安全な医療環境をお届けしたいと考えており

ます。

そのために、秩父市のみならず周辺の4町、秩父郡市医師会、埼玉県などにも参画していただける形での病院建設に向けた協議を早急に開始いたします。

また、これと並行して、厚生労働省が進めております、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県が認定する制度である「地域医療連携推進法人」の設立も検討します。

また、地域包括ケアの考え方にに基づき、高齢者福祉、在宅医療、介護支援体制のさらなる充実を進め、誰もが安心して老後を迎えられるまちを目指します。

次に、教育と子育て支援について申し上げます。

子どもたちは秩父の未来そのものです。私は、「教育と子育てへの投資は、最も価値あるまちへの投資」と確信しております。

市長就任直後から取り組むべき課題として、小学校への新入学児童の入学準備祝金補助事業、具体的にはランドセル購入の補助金を、以前のような家庭ごとに使い方を選んでいただける、入学祝金に戻すことについて早急に検討をはじめ、令和8年度に小学校に入学する児童の皆様、保護者の皆様への支援内容を変更する準備を始めております。

あわせて、病児・病後児保育事業、保育士の処遇改善、子どもの遊び場

の創出など、現場の実情に即した支援を実施していきたいと考えています。

次に、秩父の未来を支えるのは、地域経済の活力と雇用の安定です。

秩父の強み（森・水・エネルギー）を生かした産業振興に力を入れてまいります。例えば、地盤の強さを生かした、通信・データセンター誘致など、雇用創出に繋げる取り組みを実施していきたいと考えています。

また、秩父の森・水のブランディングにより「秩父ブランド」を確立し、域外からの経済的流入を促進し、地元事業者の付加価値向上を後押しします。

また、再生可能エネルギーの地産地消促進、森林整備と里山保全、ゼロカーボンに向けた中長期的なビジョンで、秩父らしい環境政策にも注力してまいります。

次に、開かれた市政の実現です。

市政は市民のものであり、市民の声こそが最も尊重されるべきです。

私は、市内各地で定期的に「タウンミーティング」を開催し、市民の声を直接お聞きする機会を設けます。若者や子育て世代、高齢者、移住者など、様々な立場の方の意見を聴く場を設け、市政への多様な参加を促してまいります。

また、私が、吉田・大滝・荒川の各総合支所で執務をする取り組みについても実施に向けて調整をしております。

私が旧町村の地域に滞在する時間を増やすことで、それぞれの地域の現状への理解を深めるとともに、市民の皆様や、市職員とのコミュニケーションを強化し、市町村合併から20年の今年を契機として改めて住民の皆様の暮らしをより良いものとしていきたいと考えております。

以上、市長就任に当たりまして、私の市政に対する所信の一端を申し上げましたが、市が抱える多くの課題に「スピード」と「実行力」をもって新たな秩父市を力強く前に進めていくよう取り組んでまいります。

どうか、議員の皆様には忌憚なきご意見と建設的なご提案をお寄せいただき、秩父の未来を共に創っていただきますよう、心よりお願い申し上げます。